

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)
事業期間を通じた評価

国立大学法人山梨大学 学長 殿

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の事業期間を通じた評価について、検討会における審査の結果を踏まえ、下記のとおり評価結果をお示しします。
あわせて、本検討会の所見についても別紙のとおりお示しします。

記

A	当初の構想どおりの取組が行われ成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。
---	--

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の
事業期間を通じた評価

国立大学法人 山梨大学

(検討会の所見)

- 産業に結び付く研究に焦点を当て、外部資金獲得額などの数字として表しやすい指標で経営改革を取り上げている大学が多い中で、国立大学の重要なミッションの一つである地域貢献に焦点が当てられている。地域との連携強化、地域の人材養成を牽引するための構想は、県立大学とのアライアンスの速やかな設立など、学長の力強いリーダーシップに支えられて順調に進捗している。
設置者の異なる大学との丁寧な連携の下に、教育面はもとより両大学の構成員の改革意識にも効果的な影響を及ぼしている点を高く評価したい。
- 大学間連携を基軸とした大学改革マインドの醸成、地域・大学間連携を核とした連携事業の実施、大学間連携事業により捻出した資源の再投資(戦略的配分)について、積極的かつスピーディーに取り組み、着実に成果を上げ、特に、山梨県立大学との連携「大学等連携推進法人」は注目に値するもので、既に多くの目に見える効果を引き出している。また、新型コロナウイルスのワクチン接種に関して、「大学拠点接種」を率先して実施し、地域社会に貢献し、ワクチン接種率を高め、早期に対面授業再開を可能にしたことも評価できる。
- 主として山梨県立大学との連携が順調に進展していると評価できる。今後は教養科目での講座の共同設定にとどまらず、山梨県立大学との連携分野をさらに広げ、取り組みを深化させることが期待される。また、県下の他大学との連携にも取り組んでいただくことが望まれる。山梨県にとっては、女子生徒の大学進学率の向上も高等教育政策運営上の重要な課題の一つであると考えられ、第4期中期目標期間においては、そうした政策目標の達成に資する目標も盛り込んで取り組まれることを期待する。
- 目的と、目的実現に向けた取り組みも明確であり、着実に成果を積み重ねている。強みを活かしたものというより、特徴を考慮したものであるが、多くの地方大学にとっても参考になる取り組みだと考える。
- 地域連携、地域ビジョンとしての山梨大学の機能拡大の努力が実を結びつつあることが確認できた。一方で、「研究大学」としての山梨大学の成長をどこに見据えているのかがまだよく見えない。今後のチャレンジではないか。
- 地域貢献に対する取り組みは素晴らしい。一方で、大学の持つ強い研究分野を核にした大学力強化という取り組み(将来ビジョン)が十分ではないように見受けられる。その観点での取り組みも進めてほしい。